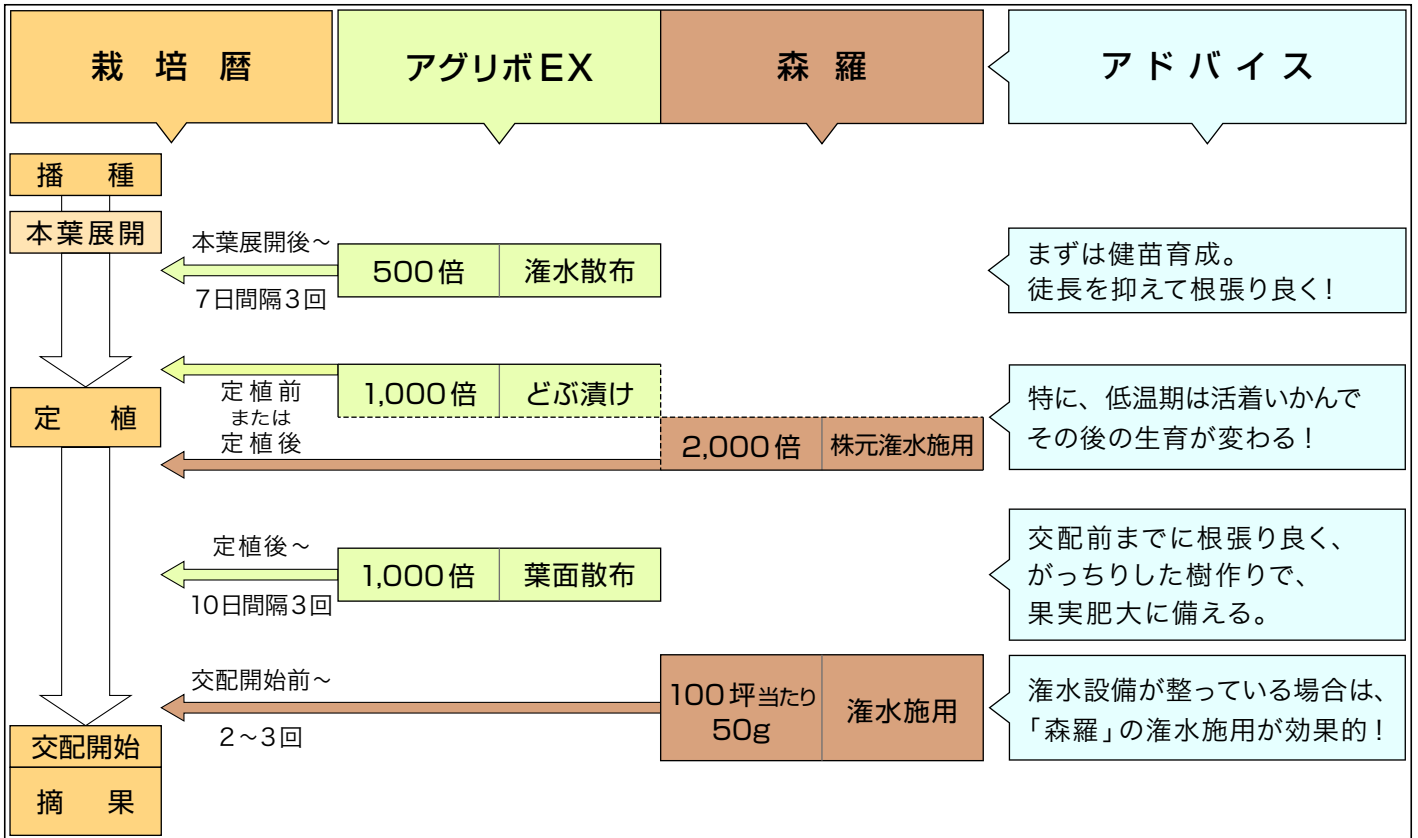


前半の「樹作り」に！

生育の後半にメロンで見られる萎れは、果実の肥大期に樹に大きな負担がかかるために起きます。着果期までに萎れに耐えられる樹作りを心がけてください。



着果枝伸長時の灌水に「森羅」

を使用すると、太くて長い着果枝が出来、肥大の良い果実を作ることが出来ます。ぜひ試してみてください！

萎れ症状が出た時に！

まず「アグリボEX」を、1,000倍に希釈して葉面散布。
続いて「森羅」を100坪当たり50g灌水施用してください。

交配も樹に大きな負担

果実肥大期と同様に、交配時にも樹に負担がかかります。そんな時も「アグリボEX」の散布が効果的！ホルモン剤を使用する時は、1,000倍希釈で混用してください。
※ 蜂への影響はございません。

天候不順が予想される場合、「アグリボEX」の代わりに“光触媒”入り「アグリボ3」の3,000倍希釈液の散布が有効です。

「アグリボEX」や「アグリボ3」を葉面散布する際、“展着促進材”（界面活性剤・トレハロース）入り「ヤワラ」を1,000倍希釈相当で加用すると、散布液の展着性向上に効果的です。

ご質問 フリーダイヤル イーハナ イーヤサイ アグリボ
ご相談 **0120-187-183** 相談室

AGREVO

<http://www.agrevo.co.jp/>

株式会社アグリボ 〒240-0035 神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町528
TEL:045-352-5327 FAX:045-352-5328